



「地域にちらばる難聴児 つながり交流会」

私たち教育支援部は、校内支援の他に、県北にある6市6町の地域支援を行っています。そこでは、難聴学級や通常学級で学習している聴覚に障害のあるお子さんがたくさんいて、在籍している保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校への支援と共に、それぞれのお子さんやご家族への相談支援も行っていきます。

10月8日(土)には、県北地域の難聴児4～5年生を対象に「つながり交流会」をしました。今年は、聴覚支援学校、地域の小学校の難聴学級に在籍するお子さん4人とご家族が参加されました。初めは、名刺交換をしながらの自己紹介。「好きな食べ物」を聞くと緊張がほぐれるようです。

【ゲーム】

計算しっぽ取り、ボール投げビンゴ、流れるお寿司、金魚すくい、ボーリング、箱の中身は？



「しっぽ取り」は、いろいろな長さのしっぽの先に書かれた数字の合計で競うチーム戦。しっぽ取りも計算も協力して頑張りました。

「箱の中身は？」もチームで協力することが大事になってきます。名前が分からないときは絵に描いたり、相手チームに教えてもらったりして、みんなで楽しみました。

その間、保護者は情報交換をしました。小学校卒業したあとの進路や悩み事などの話をして盛り上がりました。



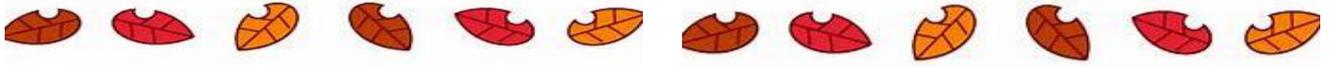
ポスターセッション(障害理解)

「楽しい学校生活～こんな時どうする～」という題目で学習や生活の中での困ったこと等を出し合い、その時の気持ちや対処法などを話し合いました。

聞こえにくかったときや分からないとき、どうすればいいのかなど具体的な例をあげて話し合うことができました。

自分なりの解決方法を考えたり、友だちの意見を聞いたりする事で、これからの学校生活の中で自分の障害と向き合い解決していく力を身に付けていければと思います。





感想

活動の終わりには、子どもたちや保護者それぞれの感想を、カードに書いて落ち葉の掲示板に飾ってもらいました。子どもたちや保護者のみなさんから、「また参加したい」という感想をいただきました。一部紹介します。

〔感想〕

子ども

- ・今日はとっても楽しかったです。
- ・ボール投げビンゴ、またやりたいです。
- ・おすしを2ことってうれしかった。
- ・そうだんすることも勉強した。
- ・友だちに手話でしっかり話します。

保護者

- ・同じ悩みをもっていることが分かり、これからの生活に役立てたいと思いました。
- ・恥ずかしがりながらも楽しく遊んでいる姿に、見ている私たちも楽しくなりました。
- ・また次回も参加したいと思います。

今後も本校では、地域に散らばる難聴児のつながり支援として、4～5年生を対象に企画していきます。

2年続けて交流することで話し合いや交友が深められるよう、子どもたちや保護者の皆様にも意見を聞いたりして、内容を工夫していきたいと思っています。

